



新入生ならびご家族の皆さん、
ご入学心よりお祝い申し上げます。



今年は、例年に比べ花冷えの日が
続き、本日の入学式を待つかのよう
にサクラが爛漫と咲き誇り、皆さん
のこれまでの人生の中で最も素晴ら
しい日を迎えられたことを祝福して
いるかのようです。



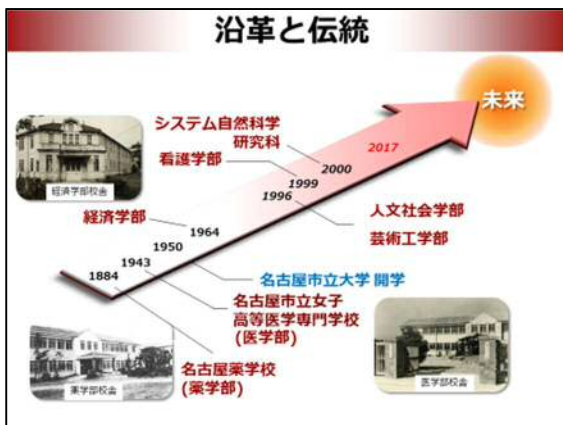
本日ここに、河村たかし名古屋市長、加藤一登市会議長をはじめ、ご来賓のご臨席を賜り、教職員一同とともに入学式を執り行いますことに、大学を代表して深く感謝申し上げます。

本日の式辞では、皆さんに名市大への親しみを持っていただきたいとの思いから、スライドを用意しました。



本日の話のテーマは、「愛と未来」としました。式が始まるまで会場では、歌手キロロさんの「未来へ」を聞いていただきました。

新入生の皆さんが、本日ここにあるのは、ご家族の慈しみに依るものです。ご両親への深い感謝をいつまでも持ち続け、あなたの前にある輝かしい未来を、あなた自身の手で切り拓いて下さい。



ここで名市大の沿革をご紹介します。名市大は、1884年創立の名古屋薬学校と、1943年創立の名古屋市立女子高等医学専門学校を源流とし1950年に開学され、その後、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、看護学部、システム自然科学研究科からなる総合大学に発展し、輝かしい「未来」に向かって進化しています。

この数字は？

133		74
53	67	18
22	22	19

皆さん、ここで2つの質問をします。「入学試験が終わったところなのに」とお思いでしょうが、名市大をもっと知っていただくクイズです。

一つ目は、この数字は何でしょう？



そうです。名市大は今年67歳になる7人家族です。それぞれの数字は各学部の年齢で、133歳になる薬学部は全国でも有数の長寿の学部です。皆さんは、伝統と歴史がある名市大に入学された誇りと同時に責任を持ってください。

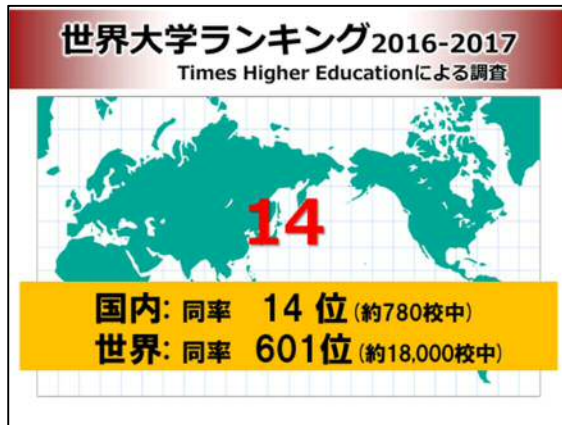


名市大の7人家族は年齢や専門性が異なるだけでなく、桜山、滝子、田辺通、北千種の4つのキャンパスに離れて住む不便さはあります。しかし、将来、近くに住むのだとの思いで、今は「オール名市大」で何ごとにも取り組んでいます。

新入生の皆さんも、学部の壁を越えた友人を作り、広い視野を持ち、多様な考え方を受け入れることができる人材になってください。



2つ目のクイズも数字です。14は何でしょう？



「14」には2つの意味があります。一つは、Times Higher Educationというイギリスの調査機関による「世界大学ランキング」で、名市大は、世界で同率601位、国内で同率14位でした。

世界大学ランキングとは、大学の研究力、教育力、外部資金などを評価するもので、名市大はそれらにおいて、トップ数%の大学だと認められたのです。



もう一つの「14」は、日経新聞の調査による「地域貢献度ランキング」で、名市大は全国14位でした。



皆さんは、このように全国でも有数の名市大に入学した「誇り」と、社会をリードする立場になる自覚と「責任」の重さを感じ、名市大への「愛校心」を持って頂きたいと思えます。

その願いを込めて、NCUマークのピンバッチを今年作成し皆さんに配布しました。名市大としてのプライドを持って胸につけてください。

卓越した研究成果の発信



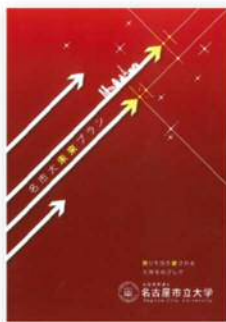
名市大が、トップレベルの大学だと評価された理由の一つは、卓越した研究成果を世界に発信しているからです。皆さんも、基礎知識をしっかり身につけた上で、真理を探究する研究をしてください。

先端的な医療



名市大が高く評価されたもう一つの理由は、先端的な医療をすることにより、市民の健康福祉に寄与し、独創的な治療法の開発や創薬につなげ、その成果を世界に発信し続けていることです。

「名市大未来プラン」



・2014年策定
・名市大の15年後の
明るい未来を築く

・4つのビジョン
・52のプラン

このように名市大は、名古屋市の支援のもと、教職員の地道な活動により発展してきました。しかし、わが国では超少子高齢化が進み、経済の低成長は続くことでしょう。

そこで名市大では、さらなる進化を目指し3年前、15年後の明るい未来を築く「名市大未来プラン」を策定しました。

4つのビジョン、52のプランを掲げ、その実現に向け、7人家族がオール名市大として力を合わせて日々努めているところです。

全学による教養教育

本日はそれらの中から、皆さんに関わる、7人の全ての家族で取り組んでいるプランをご紹介します。

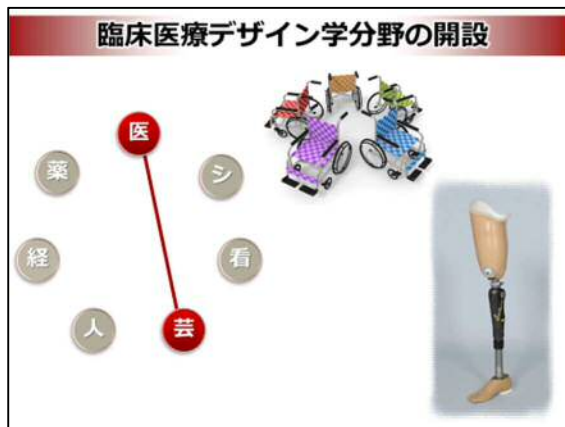
一つ目は、皆さんが入学後、直ちに学ぶ「教養教育」を、昨年全面的に改革したことです。その特徴は、すべての教員が、学部の壁を越えてすべての学生に教育することで、幅広い教養を身につける全人的教育を高度専門教育と共にしています。

医療経済マネジメントコースの開設

2つ目は、昨年開設した「医療経済マネジメントコース」です。経済学研究科が医学・薬学と連携し、医療経営の専門家を養成する全国で初めての大学院です。大きく発展する分野として、多くの学生が入学しています。

臨床心理コースの開設

3つ目は、今年オープンした「臨床心理コース」です。人間文化研究科が医学・看護と連携し臨床心理士を養成するもので、附属病院には「医療心理センター」を同時に開設しました。小中学校からのニーズに応え、心の悩みを抱える人たちが増えている社会に貢献してまいります。



4つ目は、医学と芸術工学の研究科が共同して今年開設した、医療機器のデザインを開発する「臨床医療デザイン学分野」です。これも全国で初めての大学院で、併設した「医療デザイン研究センター」から、世界に研究成果を発信してまいります。

これら3つの研究科の皆さん、「名市大の新たな歴史を作るのだ」との大志を抱いてください。



もう一つ、来年には「総合生命理学部」を開設予定で、名市大の7つ目の学部になります。東海地区には理学系の学部が少なく、その志望者の多くが県外に出ていることから、すでに高校からの期待は高まっています。皆さんのお友達にもご紹介してあげてください。



次に、名市大生の素晴らしい活動を紹介し、皆さんの充実した大学生生活のアドバイスになればと思います。

はじめは、名古屋市 大学生消防団が、地域の防火・防災に貢献し、昨年総務大臣から感謝状を授与されたことです。名市大は、地域に支えられ、地域に貢献する大学です。



医・薬・看の学生が、文科省の支援で行っている「なごやかモデル」では、これからさらに進む超高齢社会における医療・介護の理想の姿を学んでいます。この実践的な成果は、「名市大モデル」として全国に普及することでしょう。



名市大は、皆様のご家庭と常に連携しながら学生教育に当たっています。薬学部における「ペアレンツ・カミングデー」では、340名ものペアレンツにお越しいただき、名市大へのご理解とご支援をいただきました。



名市大生は、施設や里親の子どもたちへの学習支援を積極的に行っています。その一つは「ようこそ大学へ！プロジェクト」で、3年前から夏休みに児童を名市大に招き、教職員とともに支援しています。

わが国における子どもの貧困率が17%にも増えた現在、名市大生の活動は社会から注目されています。

震災の記録に基づくCG作品



東日本大震災後、名市大では絶えず、大学の特性を生かした支援をしてきました。

その一つはこの動画で、芸術工学部が船舶が津波でビルに乗り上げてしまった惨状を、CG技術を駆使して再現したものです。大震災を風化させず、一日も早い復興を願う思いから作成されました。

陸前高田市枠推薦入試 看護学部生の入学

岩手日報 2017年3月11日



看護学部では、被災地のひとつ陸前高田市から、毎年2名の学生を迎え、この春、第一期生が卒業しました。本日も、地元の新報で大きく取り上げられた二人も新入生がこの会場におられます。温かく迎えてください。

開学65周年記念 演奏会

開催日：平成27年12月27日（日）
会場：愛知県芸術文化センター



—昨年、開学65周年を記念して、本学の管弦楽団と教職員、学生らが、ヨーロッパから招いた4名のソリストとともに奏でた「ベートーベン第九」の合唱は、美しくも力強い一体感に溢れたもので、1700名の観衆を感動の輪で魅了しました。

この演奏は、YouTube にアップしています。

愛するということ

「愛されることばかりを求め、
自分から愛そうとしない人は
成熟した愛を体験できない」

『愛するということ』
著者・Erich Fromm
(エーリッヒ・フロム)
訳・鈴木晶／紀伊國屋書店



名市大の教職員と学生が、愛校心をもって取り組んできた活動をご紹介します。

「愛」と言えば、心理学者エーリッヒ・フロムは、著書「愛するということ」の中で、「愛されることばかりを求め、自分から愛そうとしない人は成熟した愛を体験できない」と述べています。人間は一人で生きることが出来ません。人を愛し愛されることで自らは成長し、社会の平和と発展につながるのだと思います。

志之雲凌

名古屋市立大学 理事長 学長
郡 健二郎

最後に、私の好きな言葉「凌雲の志」を揮毫して、皆さんにお送りします。皆さんは、憧れの名市大に入学され、ほっとされていることでしょうか、あなたの「未来」はこれからです。大きな志を抱き、その実現に向けて歩んでください。

本学は、輝かしい伝統のもと、世界をリードする大学を目ざし飛躍してまいります。皆さんが、母校、名市大に愛と誇りを持ち続け、世の中に役立つ逸材になられるよう、教職員一同、あなた方をわが子のように思い、時には厳しくも心温かく応援してまいります。

名市大へのご入学おめでとうございます。

平成29年4月5日

名古屋市立大学 学長
郡 健二郎